

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60% 小テスト(提出物)：30% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	細田琴海	実務経験	○		
実務内容	映像業界で培った経験を活かし、ウェディングプランナーとして、打ち合わせから当日の映像撮影まで一貫して担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネーターの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時にどのような手続きが必要なのか知る

5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネート 会場コーディネート テーブルコーディネート	会場内のコーディネートについて理解を深める
7	衣裳1 衣裳、ヘアメイク、着付け1	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳2 衣裳、ヘアメイク、着付け2	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理、飲物1 テーブルセッティング1	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理、飲物2 テーブルセッティング2	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。				
到達目標	ブライダルコーディネーター技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。				
評価基準	テスト：60％・提出物：30％・授業態度：10％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルコーディネーター技能検定3級				
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策1	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
3	筆記問題対策2	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
4	筆記問題対策3	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
5	筆記問題対策4	ペアを作り、今までの問題を解く(100問ずつ)
6	実技対策1	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
7	実技対策2	対策問題、予想問題を使用し問題を解く

8	実技対策3	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
9	実技対策4	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
10	模擬テスト1	対策問題を解く
11	模擬テスト2	対策問題を解く
12	模擬テスト3	対策問題を解く
13	模擬テスト4	対策問題を解く
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる				
評価基準	授業態度30%・提出物40%・グループディスカッション30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠ・プライダルビジネスマナー インターンシップⅠ・インターンシップⅡ・インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	秋元珠梨 他1名	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	1年次の振り返り
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	スケジュール管理 To Doリスト作成	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
4	履歴書・エントリーシート 面接や企業について1	1年次の振り返りを踏まえて理解を深める 自身が実践してきたことをアウトプット・共有をする
5	グループディスカッション	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
6		
7		

8	履歴書・エントリーシート 面接や企業について2	1年次の振り返りを踏まえて理解を深める 自身が実践してきたことをアウトプット・共有をする
9	社会人基礎力について 社会で求められる人材について	社会人基礎力を身に着ける為に、必要なことを考え・理解する
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。				
評価基準	授業態度40%・提出物30%・テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠ・プライダルビジネスマナー インターンシップⅠ・インターンシップⅡ・インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
3	スケジュール管理 To Doリスト作成	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
3	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
4	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
5	社会人に求められるスキルについて	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
6		
7	人間関係構築力について	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ

8		
9		
10		
11	社会人マナーについて	冠婚葬祭マナーや入社書類について 給与明細の見方・お金の常識について 引っ越しや一人暮らしについて
12		
13		
14	卒業に向けて	学校生活を振り返り・これからの自分を考える
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	なし	出版社	なし		

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	テスト50%・プレゼン30%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	室伏 奎甫 他2名	実務経験	○		
実務内容	ゲストハウスにて5年間、コンシェルジュ・セールス・プロポーズプランナーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎1	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎2	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎3	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎4	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン1準備)
6	ブライダルジュエリー基礎5	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン2グループ発表)
7	ブライダルジュエリーブランドを調べる1	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(国内ブランド)

8	ブライダルジュエリーブランドを調べる2	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(海外ブランド)
9	指輪のサイズ	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る
10	ラッピング技術	実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案1	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案2	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	前期末テスト実施
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし	出版社	なし		

科目の基礎情報2

授業のねらい	挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを理解する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる。 ・現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る 				
評価基準	授業態度40%・提出物40%・振り返り20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小林 江里佳 他1名	実務経験			
実務内容	専門式場にてウェディングプランナーとして打合せから当日施行まで携わり サービススタッフ・新規接客・会場コーディネート経験もある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウェディングプロデュースについて	2年生後期に実施するウェディングプロデュースの概要を知る
2	役割の決定	役割の理解、アンケートを記入する
3	目標設定 当日までのスケジュール理解	ウェディングプロデュースにおける全体の目標を設定する 当日までの準備スケジュールを理解する
4	新郎新婦公募について1	新郎新婦の公募方法を考え実施する
5	新郎新婦公募について2	
6	新郎新婦公募について3	

7	予算使用について	全体予算とセッション予算、予算の使用方法について理解する
8	会場見学・会場研究	使用する会場の見学、導線や物品を確認する
9	各セッション制作1	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・BGM フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セッションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
10	各セッション制作2	
11	各セッション制作3	
12	各セッション制作4	
13	各セッション制作5	
14	各セッション制作6	
15	総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし	出版社	なし		

科目の基礎情報2

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる				
到達目標	学んだ知識をもとに実践力を身に付ける 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る				
評価基準	授業態度40%・提出物40%・振り返り20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	各セッション制作1	招待状、席次表、席札作成・演出・進行表・BGM・フラワー 会場装飾・小物・ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等のコラージュを作成する
2	新郎新婦様との打合せ1	衣装合わせ・各セッション制作1の提案、ヒアリングをする
3	各セッション制作2	招待状完成・席次表、席札作成・進行表作成・司会原稿作成 CD(映像)作成・ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を作成する
4	新郎新婦様との打合せ2	衣装合わせ・招待状お渡し・試食会日程決め・各セッション制作2のご提案をする
5	各セッション制作3	全体スケジュール作成・席次表、席札完成・司会原稿完成・CD(映像)完成 ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を完成させる
6	新郎新婦様との打合せ3	メイクリハーサル・料理、ウェディングケーキ、ゲスト人数確認・各セッション制作3の確認をする
7	各種リハーサル	紙上リハーサル・口上作成・各セッション動きを確認する 新郎新婦様との挙式、披露宴リハーサルの為のリハーサルを行う

8	新郎新婦様とのリハーサル・最終打合せ	メイクリハーサル・挙式、披露宴のリハーサル・最終打合せ・お預かり物等を確認する
9	各セッション制作4	席次表、席札人数分印刷・フラワー、会場装飾卓数分作成する 会場へ持込みするグッズを確認する
10	挙式・披露宴リハーサル	挙式・披露宴通しのリハーサルを行う
11	全体リハーサル1	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りまでのリハーサルを行う
12	全体リハーサル2	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
13	全体リハーサル3	お客様役の1年生を入れて受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
14	振り返り	本番を振り返って振り返りを記入する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	コーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ				
到達目標	コーディネートの必要性を理解する。 イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。				
担当教員	小林 江里佳 他1名	実務経験	○		
実務内容	専門式場にてウェディングプランナーとして打合せから当日施行まで携わり サービススタッフ・新規接客・会場コーディネートの実務経験もある。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コーディネートAの復習	コーディネートAで学んだ内容を復習する
2	結婚式の証明	証明の知識と活かし方を学ぶ
3	結婚式のBGM	BGMの特徴やルールを学ぶ
4	集中講義1 オリエンテーション	集中講義の進め方について理解する
5	集中講義2 空間コーディネートの香りについて	空間コーディネートの香りについて学ぶ
6	集中講義3 挙式の空間コーディネート	挙式の種類のデコレーションについて学ぶ

7	集中講義4 披露宴の空間コーディネート	披露宴の空間を作る物について知り、披露宴のデコレーションについて学ぶ
8	空間コーディネート1	春の結婚式のコーディネートを考える
9	空間コーディネート2	夏の結婚式のコーディネートを考える
10	空間コーディネート3	秋の結婚式のコーディネートを考える
11	空間コーディネート4	冬の結婚式のコーディネートを考える
12	集中講義5 ウェルカムスペースのコーディネートについて	コーディネートCで作成するウェルカムスペースのコーディネートについて理解する
13	集中講義6 デコレーション案について	クラスでデコレーションの案を出し合う
14	集中講義7 デザインシート作成	デコレーションの案をもとにデザインシートを作成する
15	テスト	前期テスト

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	コーディネートC		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートC		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	空間を創り上げる要素について理解する				
到達目標	効果的な演出方法やデコレーションを理解し、適切な提案が出来る 提案書をもとに指定のスペースにコーディネートができる				
評価基準	テスト40%・授業態度30%・提出物30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コーディネートのバリエーション	様々なアイテムのコーディネートについて学ぶ
2	トレンドの演出(挙式)	挙式空間を華やかにするトレンドの演出について学ぶ
3	トレンドの演出(披露宴)	披露宴空間を華やかにするトレンドの演出について学ぶ
4	集中講義1 ウェルカムスペースのデコレーション	ウェルカムスペースのデコレーションのポイントについて学ぶ
5	集中講義2 制作物の作り方について	アイテム制作のポイントを学ぶ
6	集中講義3 制作・施行準備	スペース作成のための制作物、施行手順を検討し、制作を進める
7	集中講義4 施行リハーサル	制作を進め、施行リハーサルを行う

8	ナチュラルウェディングのコーディネート	コンセプトに合わせた会場コーディネートを行う
9	デザイン構成	プロップアートでデザイン構成練習をする
10	婚礼衣装に合わせたコーディネート	衣装に合わせた披露宴会場のデコレーションを考える
11	集中講義5 ウェルカムスペースの施行	ウェルカムスペースを施行する
12	集中講義6 プレゼンテーション	作成したウェルカムスペースのプレゼンテーションを行う
13	集中講義7 プレゼンテーション・フィードバック	作成したウェルカムスペースのプレゼンテーションと発表したチーム同士でフィードバックを行う
14	テスト	後期テスト
15	ウェルカムスペースのフィードバック	各チームのウェルカムスペースへのフィードバックから作成する際のポイントを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	心理学		
必修選択	選択	(学則表記)	心理学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	1実践モチベーションマネジメント【BASIC】 2今日から使える行動心理学		出版社	1モチベーション・マネジメント協会 2ナツメ社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダル業界のスタッフとしてお客様心理や一緒に働く仲間の心理と自己のモチベーションマネジメントを身に付ける				
到達目標	1自己のモチベーションをコントロールする方法を述べる事が出来る 2お客様や仲間の心理を理解する方法を述べる事が出来る				
評価基準	テスト：40% 小テスト：30% 提出物：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	モチベーションマネジメント オリエンテーション 自分に対するモチベーション1	授業の流れ、到達目標について 「公認モチベーション・マネジャー資格」について 自分に自信がないケースについて
2	自分に対するモチベーション2	出来ない事を人のせいにしてしまうケースについて 叱られたくない、迷惑をかけたくないケースについて
3	仕事に対するモチベーション1	仕事がつまらなれないと思うケースについて 希望していない仕事に配属されたケースについて
4	仕事に対するモチベーション2 職場に対するモチベーション1	頑張っているのに成果が上がらないケースについて 打ち解けられないケースについて
5	職場に対するモチベーション2	職場の同僚から嫌われていると感じるケースについて 発言しづらい雰囲気の場合について

6	上司に対してのモチベーション	<p>尊敬でない上司について</p> <p>相性が悪い上司について</p> <p>怖い上司について</p>
7	テスト・振り返り	総まとめテストと、必要な部分の補足学習を行う
8	行動心理学オリエンテーション 行動に表れる本音1	<p>行動心理学を学ぶ意味について</p> <p>ふとしたしぐさに表れやすい本音について</p>
9	行動に表れる本音2	<p>気持ちを隠し切れない表情について</p> <p>会話の中に折り込まれる人間性について</p> <p>自分を魅力的に見せるテクニックについて</p>
10	行動からわかる性格と心理	<p>癖に隠れた人間性について</p> <p>ファッションから読み取る人物像について</p> <p>ハマりものに表れる深層心理について</p> <p>ポジティブに過ごすテクニックについて</p>
11	できる人間から学ぶ行動	<p>上司の心をつかむコミュニケーションについて</p> <p>何を考えているのかわからない部下について</p> <p>うまくつきあいたい同僚について</p> <p>仕事で成功するテクニックについて</p> <p>なかなか抜け出せないスランプについて</p>
12	消費者行動の心理	<p>財布の紐が緩むときについて</p> <p>マーケティングを活かした「売る」仕掛けについて</p> <p>「欲しい」をかきたてる宣伝文句について</p>
13	行動で操れるあの人の心	<ul style="list-style-type: none"> ・言動から読み解く脈アリのサインについて ・2人の心が近づくしくみについて ・恋愛難民になってしまう理由について ・恋を手に入れるテクニックについて ・幸せな関係が長く続く2人について
14	テスト・振り返り	総まとめテストと、必要な部分の補足学習を行う
15	総合学習	総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プライダル英会話ⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	プライダル英会話ⅠA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	Fun Time!	出版社	朝日出版社		

科目の基礎情報2

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ、ご案内ができるスキルを身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができるようになる ・日常のありふれた会話を英語でロールプレイングができるようになる(身振り手振りも大切な伝え方) 				
評価基準	小テスト30%・ロールプレイングテスト40%・授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	プライダル英会話ⅠB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	吉田 沙倉	実務経験	○		
実務内容	<p>香港在住後、イギリスへ留学。</p> <p>商社にて貿易・英文事務を5年、英会話教室、保育園、塾にて英語講師を経験。</p>				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1授業の目的・成績評価・授業ルール・自己紹介・検定 2UNIT1	1教員の自己紹介、英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 2単語と文法を確認 / ロールプレイング
2	1UNIT1 単語テスト/復習 2UNIT2	1UNIT1単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
3	UNIT2 単語テスト/復習 UNIT3	UNIT2単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
4	UNIT3 単語テスト/復習 UNIT4	UNIT3単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
5	UNIT4 単語テスト/復習 UNIT5	UNIT4単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング

6	UNIT5 単語テスト/復習 UNIT6	UNIT5単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
7	UNIT1-6 テスト(筆記) UNIT7	UNIT1-6 筆記テスト 単語と文法を確認 / ロールプレイング
8	UNIT7 単語テスト/復習 UNIT8	UNIT7単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
9	UNIT8 単語テスト/復習 UNIT9	UNIT8単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
10	UNIT9 単語テスト/復習 UNIT10	UNIT9単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
11	UNIT10 単語テスト/復習 UNIT11	UNIT10単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
12	UNIT11 単語テスト/復習 UNIT12	UNIT11単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
13	UNIT7-12 テスト(筆記) Speech Training	UNIT7-12筆記テスト P74スピーチを実施
14	後期にむけて	後期に向けて理解する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プライダル英会話ⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	プライダル英会話ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	Fun Time! みんなの外国語検定 デモ検定プライダル		出版社	朝日出版社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ・ご案内ができるスキルを身につける				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> インバウンド接客外国語検定(英語・プライダル)の取得 単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができるようになる 				
評価基準	ロールプレイングテスト・デモ検定 30% 授業態度 30% 検定40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	インバウンド接客外国語検定／英語／プライダル				
関連科目	プライダル英会話ⅠA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1授業の目的・成績評価・授業ルール 2検定について 3前期復習	1英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 2検定について理解する 3前期の復習
2	デモ検定	プライダルでの単語や文法を理解する
3	デモ検定	プライダルでの単語や文法を理解する
4	デモ検定	プライダルでの単語や文法を理解する
5	デモ検定	プライダルでの単語や文法を理解する
6	デモ検定	プライダルでの単語や文法を理解する

7	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
8	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
9	検定対策1	デモ検定
10	検定対策2	デモ検定
11	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成
12	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成・ロープレ練習
13	レストランサービスのロープレ テスト準備2	レストランサービスのロープレ練習
14	レストランサービスのロープレ テスト	レストランサービスのロープレ本番
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プレゼン・コミュニケーションA		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼン・コミュニケーションA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報2

授業のねらい	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。また、司会原稿作りを学び、原稿に合わせて実践することができるようになる				
到達目標	正しい日本語で、会話ができる。 相手に合わせた、提案ができるようになる。 正しい姿勢・表情で自身の想いを、プレゼンテーションできる。 挙式・披露宴の司会原稿が作れるようになり、原稿に合わせて実践ができるようになる。				
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高嶋 民子	実務経験	○		
実務内容	博覧会でコンパニオンとして勤務後、TV・ラジオ等のパーソナリティ、ブライダルMCを約30年務め、現在は就職支援にも携わっている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入 コミュニケーションについて	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のルール・成績の付け方 ・コミュニケーション行動をチェックしよう ・自己紹介、コミュニケーションについて ・コミュニケーションとコミュニケーションの定義について
2	話す力・聞く力 聞くことの重要性	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと」「聞くこと」について ・コミュニケーションと話し上手 ・聞くことの重要性
3	美しい日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉について(敬語の正しい使い方)

4	発音・発声	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の話し方を見直そう ・きれいな発音・発声を身につけよう
5	効果的な表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・態度面が話の効果を決める ・目線・アイコンタクト ・表現力を高めるジェスチャー
6	小テスト 司会とは	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・司会者の役割 ・良い司会者とは ・司会者の心構えについて
7	司会原稿作成1	<ul style="list-style-type: none"> ・披露宴前半の流れをと内容を確認 ・進行表をもとに、乾杯までの司会原稿を作成
8	司会原稿発表	<ul style="list-style-type: none"> ・司会原稿作成1で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
9	司会原稿作成2	<ul style="list-style-type: none"> ・披露宴中盤の流れをと内容を確認 ・進行表に沿って乾杯から結びまでの司会原稿を作成
10	司会原稿発表	<ul style="list-style-type: none"> ・司会原稿作成2で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
11	司会原稿作成3	<ul style="list-style-type: none"> ・披露宴後半の流れと内容を確認 ・進行表に沿って結びの原稿を作成
12	司会原稿発表	<ul style="list-style-type: none"> ・司会原稿作成3で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
13	テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・前期テストの実施
14	授業の実践	グループディスカッションを行う
15	授業の実践	ディベートを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	プレゼン・コミュニケーションB		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼン・コミュニケーションB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報2

授業のねらい	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。また、司会原稿作りを学び、原稿に合わせて実践することができるようになる				
到達目標	正しい日本語で、会話ができる。 相手に合わせた、提案ができるようになる。 正しい姿勢・表情で自身の想いを、プレゼンテーションできる。 挙式・披露宴の司会原稿が作れるようになり、原稿に合わせて実践ができるようになる。				
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	司会打合せ	・司会打ち合わせの内容・コツ
2	人前式原稿	・進行表に沿って挙式の司会原稿を作成
3	人前式アナウンス発表	・原稿を仕上げロールプレイングの実施
4	アフターセレモニー原稿	・進行表に沿ってアフターセレモニーの司会原稿を作成
5	アフターセレモニー発表	・原稿を仕上げロールプレイングの実施
6	イレギュラーに対するコメント	・テーマをもとに、そのシーンを彩るようなコメント・進行を考える

7	イレギュラーに対するコメント 発表	・前回作成した司会原稿をもとにロールプレイング
8	プレゼンテーション ～自分の話し方～	・プレゼンテーション実習 ・自分の話し方をチェックしてみよう
9	プレゼンテーション ～効果的な話の構成～	・5W2Hで話す ・話の名ナンバーを付けて話す、主題－話題－主題で話す ・AIDMAの法則を使って話す
10	プレゼンテーション ～効果的な表現力～	・表現力を高めるジェスチャー
11	テスト	・後期テストの実施
12	ビブリオバトルとは	・ビブリオバトルとは ・プレゼンする本の検討
13	ビブリオバトル実践1	・ビブリオバトルを実践する
14	ビブリオバトル実践2	・ビブリオバトルを実践する
15	総合学習	総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダル映像知識		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル映像知識		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	写真・映像制作の知識やテクニックを学び、現場で活かせる基礎スキルを身につける				
到達目標	写真・動画の効果を理解し、簡易的な作品を自分で制作できるようになる				
評価基準	課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	細田 琴海	実務経験	○		
実務内容	映像業界で培った経験を活かし、ウェディングプランナーとして、打ち合わせから当日の映像撮影まで一貫して担当。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・映像導入	授業の目的・到達目標の共有、映像作品の紹介を行う
2	映像の役割	披露宴における映像の役割を理解、プランナーとの関わり方について学ぶ
3	映像の基礎1	映像演出効果、編集表現方法について学ぶ
4	映像の基礎2	映像プリプロダクションの基礎知識・撮影技法を学ぶ
5	映像の基礎3	映像撮影の基礎知識を習得する
6	映像編集に関わる音の基礎/著作権	音、曲の基礎知識、データの取り扱い、課題に基づき音楽編集/著作権について学ぶ

7	映像撮影実践1	ブライダル映像撮影のポイントと実践を行う
8	映像撮影実践2/映像編集基礎	ブライダル映像撮影の振り返り・ブライダル映像に関わる照明、演出 / 映像編集基礎を習得する
9	映像制作1	オリジナルのテーマ、ストーリー決めを行う
10	映像制作2	絵コンテ制作・映像撮影・編集を学ぶ
11	映像制作3	映像撮影・編集を学ぶ
12	映像制作4	映像撮影・編集を学ぶ
13	映像制作5	映像撮影・編集を学ぶ
14	映像発表・まとめ	制作映像発表、総評、振り返りを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	WEBプランニング		
必修選択	選択	(学則表記)	WEBプランニング		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	プランナーとしてお客様のWEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解し、WEBマーケティングの基礎を学ぶ				
到達目標	ゼクシィ本誌及び各種ポータルサイト、SNSを使用した効果的な集客の方法を学ぶ				
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

各回の展開

回数	単元	内容
1	マーケティング基礎	本講義の全体像、マーケティングの定義と背景を学ぶ
2	マーケティング基礎Ⅰ	マーケティングフローを理解する(セグメンテーション、ターゲティング)
3	マーケティング基礎Ⅱ	マーケティングフローを理解する(3C、4P)
4	マーケティング応用Ⅰ	視覚マーケティングとブランディングを学ぶ
5	マーケティング応用Ⅱ	視覚マーケティングとブランディングを学ぶ
6	ブライダルマーケティング基礎Ⅰ	ブライダルビジネスの基礎知識を学ぶ(業態、商品特性、カップルの検討行動)
7	ブライダルマーケティング基礎Ⅱ	反響経路の深い理解をする(ゼクシィ誌面)

8	ブライダルマーケティング基礎Ⅲ	反響経路の深い理解をする(ゼクシィnet)
9	WEBマーケティング基礎Ⅰ	WEBマーケティングの目的とブライダルにおけるWEBマーケティングの特殊性を学ぶ
10	WEBマーケティング基礎Ⅱ	流入施策を理解する(WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告)
11	WEBマーケティング基礎Ⅲ	サイト改善施策を理解する
12	WEBマーケティング応用Ⅰ	SNSマーケティングの概要を学ぶ
13	WEBマーケティング応用Ⅱ	Instagramのアカウント運用を学ぶ
14	WEBマーケティング応用Ⅲ	ブライダルにおけるSNS活用の事例を学ぶ
15	総復習&テスト	総まとめ、テストを実施する

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する				
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる				
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	井上 満智 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダル、TV局、スチール、舞台等の幅広い分野のヘアメイクを担当。レストラン等でフォトウエディング、挙式披露宴の洋装、和装共に担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ・ブラッシング・ブロッキング	オリエンテーション 教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明
2	黒ゴム結び ・ポニーテール・ピニング	ゴムの結び方を習得する 10ブロック導入、ポニーテール(ローポニー)
3	ポニーテール	ブロッキング・ポニーテール(トップでポニーテール)
4	編み込み1	表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み、ロープ編み
5	編み込み2 (小テスト)	編み込み小テスト、ブロッキングテスト
6	アイロンスタイリング	アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ

7	ビニング1 アイロンスタイリング	ビニングの留め方とバリエーションを学ぶ(ハーフアップでビニングと巻きをチェック)
8	ビニング2 アイロンスタイリング	学んだ技術の復習(ハーフアップ)
9	ホットカーラー1	ホットカーラーの巻き方を実践する
10	ホットカーラー2	ホットカーラー反復練習を行う
11	ホットカーラー3(小テスト)	ホットカーラー反復練習を行う・学んだ技術の小テスト
12	ホットカーラー4 シニヨン導入	ホットカーラー反復練習を行う&スクリュエ逆毛導入、シニヨンスタイルの導入
13	ホットカーラー5 シニヨンスタイル	ホットカーラー全頭20分を実施する&シニヨンスタイル作成
14	実技テスト・筆記テスト	前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する 前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ヘアアレンジの基礎技術を習得し、応用ができるように学ぶ				
到達目標	ヘアアレンジの基礎力を反復練習でしっかりと定着させ、ヘアアレンジの応用ができる				
評価基準	実技テスト40% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)40% 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ホットカーラー、編みおろし1	後期カールスタイルのアレンジ スタイル構成を学ぶ
2	ホットカーラー、編みおろしテスト	後期カールスタイルのアレンジ スタイル構成を学ぶ
3	カールアップ1	ホットカーラー、カールアップ導入
4	カールアップ1(小テスト1)	ホットカーラー、カールアップのテスト
5	重ね夜会巻き1	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
6	重ね夜会巻き2	重ね夜会スタイル練習
7	本夜会巻き1	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ

8	本夜会巻き2	本夜会巻きのスタイル練習
9	テスト練習	テストに向け復習(重ね夜会か本夜会で選択)
10	実技テスト	重ね夜会か本夜会のどちらかでテストを行う
11	卒業制作練習1	洋装・和装 各自設定する
12	卒業制作練習2	洋装・和装 各自設定する
13	卒業制作：ヘアメイク1	相モデル ヘアメイク(似合わせ)テスト
14	卒業制作：ヘアメイク2	相モデル ヘアメイク(似合わせ)テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付けA		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付けの基礎を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する				
到達目標	・きもの着付け3級(6月受験)				
評価基準	検定試験：40% テスト30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	武部 美恵 他2名	実務経験		○	
実務内容	結婚式場、ヘアヘアメイクサロンで着付け師としてフリーで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業内容、教材・小物の説明、取得免許について、授業ルールの説明
2	小紋の着せ方1	補整について、長襦袢の着せ方・たたみ方
3	小紋の着せ方2	小紋の着付け(裾合わせ)、たたみ方、 着物の部分名称
4	小紋の着せ方3	小紋の着付け(衿合わせ)
5	小紋の着せ方4	小紋の着付け(お端折の作り方)
6	小紋の着せ方5	半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称)

7	小紋の着せ方6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	小紋の着せ方7	小紋に蝶結び 仕上げ
9	3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方テスト
11	座学1	着物の名称プリント、着物の種類プリント試験結果通知
12	浴衣の着せ方	浴衣の他装 浴衣に蝶結び
13	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
14	小紋に名古屋帯	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び
15	総合学習	小紋にお太鼓結び(紐使い) 前期まとめ(期末テスト)

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	着付けB		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報2

授業のねらい	着付けの応用を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する				
到達目標	・きもの着付け2級(12月受験)				
評価基準	検定試験：40% テスト30% 授業態度：30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	着付けA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	武部 美恵 他2名	実務経験		○	
実務内容	結婚式場、ヘアヘアメイクサロンで着付け師としてフリーで活躍				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い)準備・たたみ方
2	振袖の着せ方2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
3	振袖の着せ方3	振袖にふくら雀
4	振袖の着せ方4	振袖にふくら雀
5	振袖の着せ方5	振袖にふくら雀 仕上げ
6	振袖の着せ方6	振袖にふくら雀 仕上げ

7	振袖の着せ方7	振袖にふくら雀 仕上げ
8	振袖の着せ方8	振袖にふくら雀 仕上げ
9	2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	2級検定試験	振袖の着付けとふくら雀(30分)
11	振袖変わり結び	振袖の着付けと帯結びのバリエーション
12	座学(2)	きもののTPOプリント、花嫁衣裳プリント試験結果通知
13	留袖1	留袖の着せ方、二重太鼓、たたみ方
14	婚礼のお仕度留袖実践	留袖の仕上げ、紋服の着せ方
15	総合学習	女袴について 着せ方・たたみ方 後期総まとめ(期末テスト)

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルフェア企画・プレゼンA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルフェア企画・プレゼンA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	マーケティング見るだけノート		出版社	宝島社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	マーケティングの知識を活用してブライダル業界の動向・流行を捉え、ブライダルフェアの企画・立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学習したマーケティングの基礎を踏まえビジネスの場面で求められる発展的なマーケティングの戦略と考え方を学び、理解している状態 ・ビジネスセレクトの卒業制作として、学生ブライダルフェアを企画・立案・集客・運営できる状態 				
評価基準	テスト、課題提出(企画内容)60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	・出席が総時間の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村田 彩菜 ほか1名	実務経験	○		
実務内容	プランナーとして3年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の自己紹介、授業のルール、成績の付け方 ・ブライダルフェアとは ・学生ブライダルフェアに向けて
2	マーケティングについて1 ～マーケティングは 何のためにあるか～	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダルフェアを学ぶうえでなぜマーケティングの知識が必要なのかを理解する ・マーケティングにおいて重要なことは何かを理解する
3	マーケティングについて2 ～マーケティングの基本～	<ul style="list-style-type: none"> ・「マーケティングの4P」「マーケティングの5つのステップ」について知り ・マーケティングの基礎を学ぶ
4	マーケティングについて3 ～分析手法～	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理するフレームワークについて学ぶ
5	小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングの基礎について確認テスト ・テスト振り返り

6	マーケティングについて4 ～さまざまなマーケティングの 戦略と考え方～	・1年次と2年次のこれまで学習したマーケティングの基礎を踏まえ ビジネスの場面で求められる発展的なマーケティングの戦略と考え方を学ぶ
7	マーケティングについて5 ～さまざまなマーケティングの 戦略と考え方～	・1年次と2年次のこれまで学習したマーケティングの基礎を踏まえ ビジネスの場面で求められる発展的なマーケティングの戦略と考え方を学ぶ
8	マーケティングについて6 ～さまざまなマーケティングの 戦略と考え方～	・1年次と2年次のこれまで学習したマーケティングの基礎を踏まえ ビジネスの場面で求められる発展的なマーケティングの戦略と考え方を学ぶ
9	マーケティングについて7 ～消費者の心をつかむ マーケティング理論～	・消費者視点に立ったマーケティングの重要性と理論について学ぶ
10	マーケティングについて8 ～消費者の心をつかむ マーケティング理論～	・消費者視点に立ったマーケティングの重要性と理論について学ぶ
11	マーケティングについて9 ～消費者の心をつかむ マーケティング理論～	・消費者視点に立ったマーケティングの重要性と理論について学ぶ
12	前期テスト テスト振り返り	・マーケティングの戦略や考え方、理論についての確認テスト ・テスト振り返り
13	ブライダルフェア見学 (新規接客) or 学内に実際にプランナーとして活躍をして いる方を呼び業界のお話を頂く	・実際のブライダルフェア接客を見学させて頂き 接客テクニックを学ぶと共に、その接客に込められた意味や目的を考える ・新規接客プランナーの実際の仕事内容を体感し、仕事内容のイメージや理解を深める ・お客様の目線でブライダルフェアを見学することで、 新郎新婦様の心理を想像できるようになる
14	ブライダルフェア見学の 解説・振り返り	・見学させて頂いたブライダルフェアの振り返りを行う 接客の各場面にどんな意図があったのか、接客に込められた意味や目的を理解する
15	総合学習	・総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルフェア企画・プレゼンB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルフェア企画・プレゼンB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	マーケティング見るだけノート		出版社	宝島社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	マーケティングの知識を活用してブライダル業界の動向・流行を捉え、ブライダルフェアの企画・立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学習したマーケティングの基礎を踏まえビジネスの場面で求められる発展的なマーケティングの戦略と考え方を学び、理解している状態 ・ビジネスセレクトの卒業制作として、学生ブライダルフェアを企画・立案・集客・運営できる状態 				
評価基準	テスト、課題提出(企画内容)60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	・出席が総時間の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	学生ブライダルフェア実施に向けての導入	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム分け、役割分担 ・実施方法やスケジュール
2	学生ブライダルフェア準備1 ～市場分析～	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ブライダルフェアの企画立案に向けて ・前期で学習した内容をもとに、学生ブライダルフェアを実施する際の市場を分析する
3	学生ブライダルフェア準備2 ～自社分析～	<ul style="list-style-type: none"> ・前期で学習した内容をもとに、市場に対しての自社(学生・学校)の状況を分析する
4	マーケティングについて⑩ ～広告戦略～	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ブライダルフェアの企画立案に向けて ・マーケティングの中でも重要な広告戦略について学ぶ
5	マーケティングについて⑪ ～広告戦略～	
6	学生ブライダルフェア準備3 ～商品開発・広告戦略～	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容をもとに、商品開発(ブライダルフェアの企画)を行うと共にその商品をどのように売り出すかの広告戦略を考え、実施する
7	学生ブライダルフェア準備4 ～商品開発・集客作業～	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容をもとに、商品開発(ブライダルフェアの企画)を行うと共に集客作業を行う
8	マーケティングについて⑫ ～サービスマーケティング～	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ブライダルフェア当日に向けて、サービスマーケティングについて学ぶ

9	学生ブライダルフェア準備5 ～当日運営の準備・接客練習～	・学生ブライダルフェア当日に向けて、準備や接客練習を行う
10	学生ブライダルフェア準備6 ～当日運営の準備・接客練習～	
11	学生ブライダルフェア準備7 ～当日運営のリハーサル～	・学生ブライダルフェアに向けて、当日と同じタイムスケジュールでリハーサルを行う
12	学生ブライダルフェア本番	・実際のお客様(もしくは企業様)にブライダルフェアの接客を行う
13	ブライダルフェア振り返り	・実施した学生ブライダルフェアの振り返りを行う
14	後期テスト テスト振り返り	・後期テスト(総まとめ)を行う ・テストの振り返りを行う
15	総合学習	・総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ITコミュニケーションスキルA		
必修選択	選択	(学則表記)	ITコミュニケーションスキルA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	初めてのPowerPoint 2019		出版社	秀和システム エムディーエヌコーポレーション 技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	社会人として必要なパソコン実践スキルと、PowerPointを使用したプレゼンの作成方法を学ぶ。				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの実践スキル、会議などの場面に合わせたPowerPointを使用した発表方法、作成方法を習得し、スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。				
評価基準	テスト40%、課題提出30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	パソコン技能検定2級(任意)				
関連科目	パソコン演習B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	片山 真心	実務経験	○		
実務内容	ゲストハウスにてプランナーを3年、エージェンต์にてアドバイザーを3年勤めたのちリゾートウエディング会社にて人事・社長秘書を務める。現在ウエディング業界誌のエディターなどフリーランスで活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション プレゼンテーションについて	授業の目的を理解する 伝わる・見やすいプレゼンテーションを理解する
2	プレゼンテーション作成-実践1	伝わる・見やすいプレゼンテーションの作成方法を学ぶ
3	プレゼンテーション作成-実践2	
4	プレゼンテーション作成-実践3	
5	プレゼンテーション作成-実践4	
6	オリジナルプレゼンテーションの作成1	

7	オリジナルプレゼンテーションの作成2	5回目までに学んだ伝わるデザイン技法を使用したオリジナルプレゼンテーションの作成・発表を行う
8	オリジナルプレゼンテーションの作成3・発表	
9	パワーポイントでのリーフレット作成	パワーポイントを使用してリーフレットの作成方法を学ぶ
10	実践的なパソコンスキル1	パソコン、データの整理・保存、インターネットのコツを学ぶ
11	実践的なパソコンスキル2	Wordビジネス文書のコツを学ぶ
12	実践的なパソコンスキル3	社会人で使用するExcel関数を学ぶ
13	実践的なパソコンスキル4	社会人で使用するExcel関数を学ぶ
14	まとめ	実力テスト実施
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ITコミュニケーションスキルB		
必修選択	選択	(学則表記)	ITコミュニケーションスキルB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダル業界に必要なビジネスメールの送り方、HP作成方法を学ぶ				
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学び、これまでに学んだ内容を活かしてスムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。またHP等の簡単なwebサイトが作成をする中で、情報の魅せ方を修得できている。				
評価基準	テスト40%、課題提出30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者、成績評価が2以上の者				
関連資格	ビジネスメール実務検定試験3級(任意)				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスメール導入・アドレス基本設定	メールアドレスの登録・設定、授業の目的、メールの基本構成を学ぶ
2	ビジネスメール作成1	例題に基づきビジネスメールを作成、送信等の実践を行う
3	ビジネスメール作成2	
4	ビジネスメール作成-応用1	トラブル回避、解決・代替案の提案、現場で使用するビジネスメールの事例など 条件を指定したビジネスメールを作成する
5	ビジネスメール作成-応用2	
6	関連資格対策・ビジネスメールテスト	ビジネスメール検定試験の概要について ビジネスメール実務検定の例題 筆記テスト、実技テストを行う
7	ビジネス文書実践1	依頼状の作成、依頼するメールの作成
8	ビジネス文書実践2	会議資料などのビジネス文書作成、共有するメールの作成

9	ビジネス文書実践3	議事録などのビジネス文書作成、共有するメールの作成
10	ビジネス文書・メールまとめ	ここまで学んだ内容を活かして、課題を作成してメールで教員に提出する
11	HP制作の基礎	HTMLやディレクトリ・WEBサーバーの基礎知識・Googleサイト等を使って演習 KPI設定し、ディレクトリマップ・ページネーション作成
12	HP作成1	Googleサイト等を使ってHPの作成方法を学ぶ
13	HP作成2	Googleサイト等を使ってHPの作成方法を学ぶ
14	HP作成3/発表	Googleサイト等を使ってHPを制作及び発表を行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解、習得する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ ブライダルプランナー検定1級を取得する 				
評価基準	検定結果：60% プレゼンテーション：20% 小テスト：10% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者 				
関連資格	ブライダルプランナー検定1級				
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	竹原 真由美	実務経験	○		
実務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現役ブライダル司会者として20年で2000組様以上を担当、ナレーターや企業式典司会経験有 ・ プランナー兼司会としてウェディングのトータルプロデュースも多数担当、某テーマパークトレーナー経験有 				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	American Weddings 第7章 宗教ウェディング	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宗教ウェディングの基礎知識とプロテスタントの挙式、カトリック・ユダヤ教の挙式 非宗教挙式について学ぶ ・ 第7章の過去問題を解く
2	American Weddings 第8章 様々なウェディング&イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別なウェディングや様々な会場・パーティについて学ぶ ・ 第8章の過去問題を解く
3	American Weddings 第9章、第10章 自己啓発/営業力/応対力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己啓発について学ぶ ・ 第9章、第10章の過去問題を解く
4	American Weddings 第11章 米国コンサルタントのビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国コンサルタントビジネスについて学ぶ ・ 第11章の過去問題を解く

5	American Weddings 第12章 料金・契約書	<ul style="list-style-type: none"> ・料金・契約書について学ぶ ・第12章の過去問団を解く
6	Japanese Weddings 第6章、第7章 新規接客営業	<ul style="list-style-type: none"> ・新規接客業務、婚礼実務について学ぶ
7	Japanese Weddings 第8章、第9章 婚礼当日の実務と テーブルセッティング	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ウェディングの総まとめとして、第6章から第9章までの過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第10章、第11章 様々なオペレーション業務 業界展望と求められる人材像	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ウェディングの総まとめとして、第10章から第11章までの過去問題を解く ・第6章から第11章までの過去問題でできないところを各々で解く
9	検定対策(総まとめ)1	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
10	検定対策(総まとめ)2	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
11	検定問題解答・解説	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験の解答・解説を行い、自己採点を行う
12	世界の結婚式を調べよう1	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ編成、調査対象国決定を決定し調査項目ピックアップ(国の背景・文化・人口・宗教・しきたり結婚に対する意識・どんな結婚式をしているのか等) ・日本に調査国の結婚式(演出)を取り入れた場合どのような結婚式ができるかを考える
13	世界の結婚式を調べよう2	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに対象国を調べる(可能であればパワーポイントを作成する)
14	世界の結婚式を調べよう3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに対象国を調べる(可能であればパワーポイントを作成する)
15	世界の結婚式を調べよう4 総まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとにプレゼンテーションを行う ・総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングA		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	酒井 未来	実務経験	○		
実務内容	ホテル、専門式場にてブライダルセールス、ウェディングプランナー、ブライダルアドバイザーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	打ち合わせスケジュール	成約から当日までの打ち合わせスケジュールを理解する
2	成約時の打ち合わせについて 打ち合わせ後処理について	成約時の打ち合わせと打ち合わせ後にどのような処理をするのか理解する
3	招待状1	作成スケジュールと内容物について学ぶ
4	招待状2	発送時の注意点や文章の使い分けについて学ぶ
5	接客ロールプレイング	招待状決定～発送のご依頼までのロールプレイングを実施する
6	衣装・美容	衣装、美容の手配スケジュールと関わり方について学ぶ

7	引出物・引菓子・プチギフト	引出物、引菓子、プチギフトの手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
8	接客ロールプレイング	衣装~プチギフトの決定までのロールプレイングを実施する
9	料理・飲み物	料理、飲み物の提案方法について理解する
10	装花・ケーキ・写真・映像	装花・ケーキ・写真・映像の手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
11	接客ロールプレイング	料理~映像の決定までのロールプレイングを実施する
12	テスト	前期テスト
13	人前式プランニング1	挙式を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学び ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
14	人前式プランニング3	ヒアリング~ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる
15	席次表について	配席表の手配について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングB		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	披露宴プランニング1	披露宴を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学ぶ
2	披露宴プランニング2	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
3	披露宴プランニング3	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
4	披露宴プランニング4	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
5	披露宴プランニング5	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
6	最終見積りについて1	見積りの出し方とお客様への説明の方法を学ぶ
7	最終見積りについて2	お客様のニーズに合わせて見積りを作成する

8	接客ロールプレイング	お客様への見積りの提示についてロールプレイングを実施する
9	進行打ち合わせ1	事前の進行打ち合わせにてどこまでお客様にご説明するのか理解する
10	進行打ち合わせ2	ロールプレイングにて実際に進行打ち合わせをする
11	披露宴当日の業務	披露宴当日のプランナーの役割を理解する
12	当日のアクシデント対応	当日起こる可能性のあるアクシデントについて知り、対応方法を学ぶ
13	クレーム対応	よくあるクレームや対応方法について知る
14	テスト	後期テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ハウスセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ハウスセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1新規接客や打ち合わせにおける立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。 2新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。
到達目標	1接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる 2自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。 3カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。 4ウェディングプランナーだけでなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者
関連資格	なし
関連科目	ホテルセールスB・ブライダルプロジェクトII(ウェディングプロデュース)
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する
担当教員	酒井 未来
	実務経験
	○
実務内容	ホテル、専門式場にてブライダルセールス、ウェディングプランナー、ブライダルアドバイザーとして勤務経験有。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	■導入 ■新規接客の流れ(復習)	教員自己紹介 なぜ目標があるのかを考える
2	成約率と8つの力	新規接客のゴールである成約率を上げるための力を身につける
3	新規接客の必要最低限の知識	新規接客における最低限の8つの力を身につける
4	ご来館アンケート	ご来館アンケートの目的と内容を理解する
5	アイスブレイク	1アイスブレイクの目的を理解する 2OKな話題、NGな話題について理解し実践する

6	ご来館アンケートを使った アイスブレイクロールプレイング	ご来館アンケート、アイスブレイクのロールプレイングを実施
7	カウンセリング1 カウンセリングシートの使い方と内容	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、 効果的な質問ができるようにする。
8	カウンセリング1 カウンセリングシートの使い方と内容	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、 効果的な質問ができるようにする。
9	カウンセリング2 ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対してそれぞれの価値観を引き出す ことを実践する。
10	カウンセリング2 ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対してそれぞれの価値観を引き出す ことを実践する。
11	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
12	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
13	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ハウスセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ハウスセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	1新規接客や打ち合わせにおける立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。 2新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。				
到達目標	1接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる 2自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。 3カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。 4ウェディングプランナーだけでなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ホテルセールスA・ブライダルプロジェクトII(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1会場見学 ロールプレイング	・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
2	2会場見学 ロールプレイング	・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
3	3会場見学 ロールプレイング	・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
4	魅力的な提案1 提案理由を添えた提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する
5	魅力的な提案2 競合先を意識した提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する

6	魅力的な提案3	それぞれの提案方法について理解する
7	見積り説明 ロールプレイング	見積もりの説明の仕方を理解する
8	空き状況の出し方 ロールプレイング	お客様と会場側を考えた空き状況の絞り方と提案の仕方を理解する
9	クロージング	成約、仮予約、未決定への意思の確認と迷いのサインの見極め方を理解する
10	アフターフォロー	電話、メール、手紙 それぞれの手段と内容について理解する
11	成約手続き 申込書、規約説明、 ご予約金のお預かり	申込書、規約説明、ご予約金のお預かりについて
12	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
13	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルデザインA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルデザインA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	これからはじめるillustratorの本		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルにふさわしいセンス・デザイン力を磨く事を意識し、illustratorを活用したペーパーアイテムなどの作成、及びご要望に沿ったトータルコーディネートが提案ができる事。				
到達目標	デザイン力を磨きセンスアップすること。並びにillustratorソフトの基礎技術を習得し、ブライダルの現場で活用できること。				
評価基準	課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	片山 真心	実務経験	○		
実務内容	ゲストハウスにてプランナーを3年、エージェンツにてアドバイザーを3年勤めたのちリゾートウエディング会社にて人事・社長秘書を務める。現在ウエディング業界誌のエディターなどフリーランスで活動。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ブライダルデザインの考え方 illustratorの基本	デザイン、イラストレーター基本操作を理解する
2	illustratorでのデザイン1	基本操作(新規ドキュメントの作成・保存)イラストを描いて図形・曲線・線と塗りの活用方法を学ぶ
3	illustratorでのデザイン2	文字ツール・色の設定(グラデーション)、図形配置や回転・整列を学ぶ
4	illustratorでのデザイン3	【名刺デザイン】トリムマーク・ガイド、文字の整列・画像のクリッピングマスクを学ぶ
5	illustratorでのデザイン4	1～3を使ってオリジナル名刺の作成を学ぶ

6	illustratorでのデザイン5	【地図の作成】線の引き方・レイヤーの理解・パスの基本操作を理解する
7	illustratorでのデザイン6	
8	illustratorでのデザイン7	【ハガキの作成】パターンの活用(作成・回転)・リボンの作成・文章と追加・写真の型抜き・図形の効果を理解する
9	illustratorでのデザイン8	
10	illustratorでのデザイン9	【タイトル画像】図形の組み合わせによるイラスト・トレース・ファイル形式を理解する
11	illustratorでのデザイン⑩	
12	ウェルカムコーナーデザイン1	テーマに合わせたウェルカムコーナーをデザインする (ウェルカムボード、ウェルカムコーナー装飾) ・デザイン例の説明 ・ウェルカムボード及びウェルカムコーナーのトータルデザインを考え、デザインシート(プリント対応)にまとめ ・illustratorを使用してウェルカムボードの作成
13	ウェルカムコーナーデザイン2	
14	ウェルカムコーナーデザイン3	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダルデザインB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルデザインB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	これからはじめるillustratorの本		出版社	技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルにふさわしいセンス・デザイン力を磨く事を意識し、illustratorを活用したペーパーアイテムなどの作成、及びご要望に沿ったトータルコーディネート提案ができる事。				
到達目標	デザイン力を磨きセンスアップすること。並びにillustratorソフトの基礎技術を習得し、ブライダルの現場で活用できること。				
評価基準	課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダルプロジェクトII				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プランリーフレット・DM作成1	WEB用データ作成技術を習得する
2	プランリーフレット・DM作成2	パーティテーマに合わせたフォトフロップス、オリジナル結婚証明書制作やウェディングアイテム等の制作をする
3	プランリーフレット・DM作成3	
4	リーフレット作成1	
5	リーフレット作成2	リーフレットやDM、ポスターの作成方法を学び、illustratorでの作成を行う
6	リーフレット作成3	
7	卒業制作1	ブライダルテーブルデザイン(トータルコーディネート)の作成を行う

8	卒業制作2	・席札 ・席次表
9	卒業制作3	・メニュー表 ・プロフィール ・ウェルカムボード
10	卒業制作4	・テーマPOP ・センタービース
11	卒業制作5	発表
12	卒業制作6	
13	卒業制作7	卒業制作 マイプロフィールをリーフレット形式で作成、発表を行う
14	卒業制作8	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	ホテル概論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル概論Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	15
使用教材	基礎から学ぶ ホテルの概論		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ホテル業に対する正しい知識を持つことを目的とし、組織や業務の特徴とは何かなどといった基本知識の理解を深め、ホテル産業やホテルという業種に対する深い知識を学びます。				
到達目標	ホテルの特徴や、ホテルウェディングの強みを自信をもって語れること。				
評価基準	課題提出60% テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテル概論Ⅰ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	酒井 未来	実務経験	○		
実務内容	ホテル、専門式場にてブライダルセールス、ウェディングプランナー、ブライダルアドバイザーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	2年次の授業目的 1年次の振り返り 第10章 ホテルを取り巻く環境	フロントクラーク、ベルボーイ(ガール)、ドアマン、コンシェルジュの復習 旅行会社とのかかわりやネット予約のメリット・デメリットを学ぶ
2	宿泊予約・オペレーター・宿泊サービスの基礎知識	宿泊予約・オペレーター・宿泊サービスの基礎知識
3	宿泊予約	宿泊予約とキャンセルについての流れを把握する 台本に合わせて宿泊予約の電話対応を行ってみる
4	ハウスキーピング	ハウスキーピングの仕事内容について学ぶ 現在の問題や課題について
5	客室係	客室係の仕事内容について学ぶ

6	管理部門、営業部門について	企画(プランニング)、セールス、広報、経理、総務について学ぶ
7	宴会部門について1 宴会の仕事や基礎知識	一般宴会プランの企画立案、テーブルプランについて学び、実際に会場のレイアウト表を作成してみる
8	宴会部門について2 婚礼宴会	ホテルブライダルについて学ぶ
9	ホテルスタッフに求められる能力	ホテル求められる資質について学ぶ。知っておくべき基礎知識
10	ホテルを取りまく環境	旅行会社との関わり。インターネット予約のメリット・デメリット 急増するインバウンド(訪日外国人)についてホテルの対応を学ぶ
11	ホテルの社会的責任	ホテル・旅館に関わる法律。ホテルの防災と防犯対策。個人情報やプライバシーを守る
12	半期のまとめ1	半期のまとめを行う
13	半期のまとめ2	半期のまとめを行う
14	理想のホテル・スタッフを考える	ホスピタリティを意識し、自身が理想とするホテルを考える
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅱ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士3級 学科試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	検定合格40% 各章のまとめ20%×2 授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ レストランサービス演習Ⅰ・ⅡA・ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	平石 智章	実務経験	○		
実務内容	星付きレストランでレストランサービス、ブライダルキャプテンを経験後、カフェブティック部門複数店舗のマネージャーとして活動中				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 模擬試験	授業のルール・成績評価説明 模擬試験を実施する
2	宴会とレストランサービス5	プロトコール、配席のルール、国旗掲揚について
3	食文化	食の禁忌・食文化とテーブルマナーについて
4	まとめ	演習問題を実施する
5	施設管理 苦情対応と遺失物の取り扱い	ホテル設備と防災・苦情対応について
6	食品衛生及び公衆衛生	食品衛生法の定義と目的、食中毒の分類と特徴について

7	食品衛生及び公衆衛生	食品衛生法と公衆衛生について
8	安全衛生	労働安全衛生法と労働基準法について
9	まとめ	演習問題を実施する
10	検定対策1	検定試験に向けて対策を行う
11	検定対策2	検定試験に向けて対策を行う
12	検定対策3	検定試験に向けて対策を行う
13	検定対策4	検定試験に向けて対策を行う
14	検定対策5	検定試験に向けて総まとめの対策を行う
15	総合演習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ホテルプランニングA		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルプランニングA		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	酒井 未来	実務経験		○	
実務内容	ホテル、専門式場にてブライダルセールス、ウェディングプランナー、ブライダルアドバイザーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	打ち合わせスケジュール	成約から当日までの打ち合わせスケジュールを理解する
2	成約時の打ち合わせについて 打ち合わせ後処理について	成約時の打ち合わせと打ち合わせ後にどのような処理をするのか理解する
3	招待状1	作成スケジュールと内容物について学ぶ
4	招待状2	発送時の注意点や文章の使い分けについて学ぶ
5	接客ロールプレイング	招待状決定～発送のご依頼までのロールプレイングを実施する
6	衣装・美容	衣装、美容の手配スケジュールと関わり方について学ぶ

7	引出物・引菓子・プチギフト	引出物、引菓子、プチギフトの手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
8	接客ロールプレイング	衣装~プチギフトの決定までのロールプレイングを実施する
9	料理・飲み物	料理、飲み物の提案方法について理解する
10	装花・ケーキ・写真・映像	装花・ケーキ・写真・映像の手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
11	接客ロールプレイング	料理~映像の決定までのロールプレイングを実施する
12	テスト	前期テスト
13	人前式プランニング1	挙式を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学び ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
14	人前式プランニング3	ヒアリング~ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる
15	席次表について	配席表の手配について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ホテルプランニングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルプランニングB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。				
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。				
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	披露宴プランニング1	披露宴を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学ぶ
2	披露宴プランニング2	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
3	披露宴プランニング3	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
4	披露宴プランニング4	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
5	披露宴プランニング5	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
6	最終見積りについて1	見積りの出し方とお客様への説明の方法を学ぶ
7	最終見積りについて2	お客様のニーズに合わせて見積りを作成する

8	接客ロールプレイング	お客様への見積りの提示についてロールプレイングを実施する
9	進行打ち合わせ1	事前の進行打ち合わせにてどこまでお客様にご説明するのか理解する
10	進行打ち合わせ2	ロールプレイングにて実際に進行打ち合わせをする
11	披露宴当日の業務	披露宴当日のプランナーの役割を理解する
12	当日のアクシデント対応	当日起こる可能性のあるアクシデントについて知り、対応方法を学ぶ
13	クレーム対応	よくあるクレームや対応方法について知る
14	テスト	後期テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習ⅡA		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	国家検定実技試験受検に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士3級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技テスト60%・評価シート20%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	平石 智章	実務経験	○		
実務内容	星付きレストランでレストランサービス、ブライダルキャプテンを経験後、カフェブティック部門複数店舗のマネージャーとして活動中				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 実技復習	授業の流れ、到達目標について トレイ・サーバーの扱い方・プレートサービス・ドリンクサービスの復習
2	サービスの質	今までの学びの質を高める
3	朝食のサービス1	朝食のテーブルサービスを行う
4	朝食のサービス2	朝食のテーブルサービスを行う
5	朝食のサービス3	朝食のテーブルサービスを行う
6	昼食のサービス1	昼食のテーブルサービスを行う

7	昼食のサービス2	昼食のテーブルサービスを行う
8	昼食のサービス3	昼食のテーブルサービスを行う
9	半期のまとめ1	半期のまとめを行う
10	半期のまとめ2	半期のまとめを行う
11	学科検定対策1	検定合格に向けた、学科試験対策に取り組む
12	学科検定対策2	検定合格に向けた、学科試験対策に取り組む
13	夕食のサービス1	夕食のテーブルサービスを行う
14	夕食のサービス2	夕食のテーブルサービスを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習ⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習ⅡB		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービス スタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	国家検定実技試験受検に向けて、レストランにおける料飲サービスに関する基本的な動作を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士3級 実技試験合格を目標として、 ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技検定合格60%・評価シート20%・授業態度20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士3級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・ⅡA				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
2	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
3	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
4	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
5	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
6	国家試験レストランサービス実技試験対策	本年度課題に取り組む
7	ワイン抜栓と テイスティングの知識	ワインの取り扱いとワインサービスマナーを学ぶ

8	オリジナル カクテル作り1	カクテルを創作する手順を学ぶ
9	オリジナル カクテル作り2	ノンアルコールカクテルをイメージし試作する
10	オリジナル カクテル作り3	オリジナルノンアルコールカクテルを完成させる
11	カクテルコンテスト (まとめ実践)	実践する
12	オレンジのカッティング カービング	オレンジのカッティング、カービングを行う
13	フレーミング デザート1	フレーミングデザートを作る
14	フレーミング デザート2	フレーミングデザートを作る
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ホテルセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<p>1新規接客や打ち合わせにおける立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。</p> <p>2新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる</p> <p>2自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。</p> <p>3カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようになる。</p> <p>4ウェディングプランナーだけでなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。</p>				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテルセールスB・ブライダルプロジェクトII(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	酒井 未来	実務経験		○	
実務内容	ホテル、専門式場にてブライダルセールス、ウェディングプランナー、ブライダルアドバイザーとして勤務経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ■導入 ■新規接客の流れ(復習) 	<p>教員自己紹介</p> <p>なぜ目標があるのかを考える</p>
2	成約率と8つの力	新規接客のゴールである成約率を上げるための力を身につける
3	新規接客の必要最低限の知識	新規接客における最低限の8つの力を身につける
4	ご来館アンケート	ご来館アンケートの目的と内容を理解する

5	アイスブレイク	1アイスブレイクの目的を理解する 2OKな話題、NGな話題について理解し実践する
6	ご来館アンケートを使った アイスブレイクロールプレイング	ご来館アンケート、アイスブレイクのロールプレイングを実施
7	カウンセリング1 カウンセリングシートの使い方と内容	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、 効果的な質問ができるようにする。
8	カウンセリング1 カウンセリングシートの使い方と内容	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、 効果的な質問ができるようにする。
9	カウンセリング2 ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対して それぞれの価値観を引き出すことを実践する。
10	カウンセリング2 ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対して それぞれの価値観を引き出すことを実践する。
11	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
12	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
13	カウンセリング3 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ホテルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルセールスB		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	<p>1新規接客や打ち合わせにおける立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。</p> <p>2新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践(ロールプレイング)でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる</p> <p>2自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。</p> <p>3カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。</p> <p>4ウェディングプランナーだけではなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。</p>				
評価基準	テスト：50% ロールプレイング：40% 授業態度：10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	ホテルセールスA・ブライダルプロジェクトII(ウェディングプロデュース)				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1会場見学 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
2	2会場見学 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
3	3会場見学 ロールプレイング	<ul style="list-style-type: none"> ・会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
4	魅力的な提案1 提案理由を添えた提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する
5	魅力的な提案2 競合先を意識した提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する

6	魅力的な提案3	それぞれの提案方法について理解する
7	見積り説明 ロールプレイング	見積もりの説明の仕方を理解する
8	空き状況の出し方 ロールプレイング	お客様と会場側を考えた空き状況の絞り方と提案の仕方を理解する
9	クロージング	成約、仮予約、未決定への意思の確認と迷いのサインの見極め方を理解する
10	アフターフォロー	電話、メール、手紙 それぞれの手段と内容について理解する
11	成約手続き 申込書、規約説明、 ご予約金のお預かり	申込書、規約説明、ご予約金のお預かりについて
12	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
13	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	総まとめの実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダル撮影演習A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル撮影演習A		
開講					
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	単位数	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO			出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会

科目の基礎情報2

授業のねらい	ミラーレス又は一眼レフカメラ撮影において、カメラの構造や操作技能の理解を深める。 状況に応じたカメラの設定や、自身のイメージした撮影ができるようになる。				
到達目標	ミラーレス又は一眼レフカメラの操作が一人で行える。 その場の状況、撮りたいイメージに合わせて、カメラの設定を変えられる。 光を理解して、撮影ができるようになる。 基本的なスタジオライティングを自身で組み、撮影ができる。 婚礼現場における適切な言葉遣いやお客様とのコミュニケーションをとることが出来るようになる。				
評価基準	試験(検定)・実践・作品：80% 授業への取り組み姿勢：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上である者。成績評価が2以上の者				
関連資格	JWSA認定 ウェディングフォトスタイリスト検定				
関連科目	写真・動画編集 / 広報スキル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、前期到達目標について・接客業であることの認識と、その上での注意点について学ぶ
	婚礼写真の必要性	婚礼写真の歴史と、写真の必要性を考える
2	型物写真演習	型物撮影について理解する
	型物撮影実践	型物撮影を実践する
3	スタジオフォト演習	スタジオにてライティングによる見え方の違いについて学ぶ
	スタジオフォト実践	スタジオ撮影を実践する

4	撮影演習	スタジオライティングの知識を応用し、自然光での撮影に置き換えて考える
	撮影実践	校内にて撮影を実践する
5	ロケーションフォトの流れ	ロケーション撮影について理解する
	ロケーションフォト撮影演習	指導者によるロケーション撮影を見て、撮影から納品までの過程を知る
6	ロケーションフォト撮影実践1	2グループに分かれて互いにテーマを決め、交互に撮影をする(校内)
	ロケーションフォト撮影実践2	
7	検定対策1	筆記テスト及び作品づくりへ向けた対策・撮影を行う
	検定対策2	筆記テスト及び作品づくりへ向けた対策・撮影を行う
8	前期振り返り	今までの授業の振り返りを行う
	テスト(検定)	テストを実施する
9	当日スナップ撮影の流れ	挙式当日の流れや、撮影時のポイントについて学ぶ
	当日スナップ撮影演習	挙式を設定して指導者による撮影を見る
10	当日スナップ撮影実践1	2グループに分かれて互いにテーマを決め、交互に撮影をする(校内チャペル)
	当日スナップ撮影実践2	
11	当日記録動画撮影の流れ	動画撮影について理解する
	当日記録動画撮影演習	挙式を設定して指導者による撮影を見る
12	当日記録動画撮影実践1	2グループに分かれて互いにテーマを決め、交互に撮影をする(校内チャペル)
	当日記録動画撮影実践2	
13	当日記録動画撮影実践3	
	当日記録動画撮影実践4	
14	作品作り1	自分なりにテーマを決め自由に撮影をする。編集、現像まで一人で行う
	作品作り2	
15	プレゼン実践	作品作りから作品紹介につなげたプレゼンを実践する
	総まとめ	授業の振り返りを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	ブライダル撮影演習B		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル撮影演習B		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ミラーレス又は一眼レフカメラ撮影において、カメラの構造や操作技能の理解を深める。 状況に応じたカメラの設定や、自身のイメージした撮影ができるようになる。				
到達目標	ミラーレス又は一眼レフカメラの操作が一人で行える。 その場の状況、撮りたいイメージに合わせて、カメラの設定を変えられる。 光を理解して、撮影ができるようになる。 基本的なスタジオライティングを自身で組み、撮影ができる。 婚礼現場における適切な言葉遣いやお客様とのコミュニケーションをとることが出来るようになる。				
評価基準	試験(検定)・実践・作品：80% 回収課題等：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上である者。成績評価が2以上の者				
関連資格	JWSA認定 ウェディングフォトスタイリスト検定				
関連科目	写真・動画編集 / 広報スキル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウェディングフォト企画1	校内行事に向けたフォトフェアの企画をする
2	ウェディングフォト企画2	校内行事に向けたフォトフェアの計画・準備を行う
3	ウェディングフォト撮影実践1	フォト撮影実践に向けた準備や企画を想像する
4	ウェディングフォト撮影実践2	「ロケーション撮影」「会場撮影」を通して実際のお客様を想定した撮影とサービスをする
5	ウェディングフォト撮影実践3	
6	ウェディングフォト編集実践1	ウェディングフォトの編集、加工を行う

	ウェディングフォト編集実践2	ウェディングフォトの編集を行いながら、自己の作品を創り出す
7	プレゼンテーション	撮影したフォト作品のプレゼンを行う
	プレゼン総括	空撮や水中の撮影などドローン等の機材を駆使した様々な撮影手法がある事を学ぶ
8	ウェディングフォト撮影実践4	フォト撮影実践に向けた準備や企画を想像する
9	ウェディングフォト撮影実践5	「ロケーション撮影」「会場撮影」を通して実際のお客様を想定した撮影とサービスをする
	ウェディングフォト撮影実践6	
10	ドローン実践2	1飛行訓練(基礎5) 決められた経路の飛行(四角形)
		2飛行訓練(基礎6) 機体セットアップ及び安全確認と前回までの復習飛行
		3飛行訓練(応用1) ノーズインサークル
		3飛行訓練(応用2) 8の字飛行
11	ウェディングフォト編集実践3	ウェディングフォトの編集、加工を行う
12	ウェディングフォト編集実践4	ウェディングフォトの編集を行いながら、自己の作品を創り出す
13	テスト	テストを実施する
14	フォトフェア	1年半の集大成としてのフォトフェアの実施
15	総まとめ	授業の振り返り

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	写真・動画編集A		
必修選択	選択	(学則表記)	写真・動画編集A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO 今すぐ使えるかんたん Lightroom RAW現像入門[Lightroom Classic CC/Lightroom CC対応版] (今すぐ使えるかんたんシリーズ)		出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会 技術評論社	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ウェディングにおける各シーンの撮影手順、編集技術を理解し、商品(作品)としての編集、完成を目指す。				
到達目標	ウェディングフォト(前撮り)の現像・編集ができる。 ウェディングフォトのアルバム構成ができる。				
評価基準	試験・実践・作品：60% 授業への取り組み姿勢：40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上である者。成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダル撮影演習 / 広報スキル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	授業の流れ、到達目標、ウェディングフォトの現像・編集作業の流れについて
	編集基礎知識	写真編集に必要なLightroomについての基本を知る
2	基本補正テクニック	Lightroomの基本補正テクニックを学ぶ
3	型物撮影編集1	実際に撮影したデータ(1コマ目の撮影演習で)を使用して現像をする。
	型物撮影編集2	
4	スタジオ撮影編集1	実際に撮影したデータ(1コマ目の撮影演習で)を使用して現像をする。
	スタジオ撮影編集2	

5	ロケーション撮影・企画	2人1組のグループに分かれ、接客側、お客様側になり撮影の企画を考える。
	ロケーション撮影実践	上記でヒヤリングしたことを元に撮影を実践する。
6	ロケーション撮影編集	実際に撮影したデータを現像し、納品用データを作成する。
	ロケーション撮影プレゼン	作成したデータを見せながら生徒自身でプレゼンテーションをする。
7	当日スナップ撮影・企画	2人1組のグループに分かれ、接客側、お客様側になり撮影の企画を考える。
	当日スナップ撮影実践	上記でヒヤリングしたことを元に撮影を実践する。
8	データ作成	実際に撮影したデータを現像し、納品用データを作成する。
	プレゼン	納品データの確認。アルバムに使用する画像を選定する。
9	スナップの撮影1	アルバムを想定したスナップ撮影の企画・撮影準備について
	スナップの撮影2	スナップ撮影実践 <物撮り>
10	スナップの撮影3	スナップ撮影実践 <挙式シーンまたは披露宴シーン>
	スナップの撮影4	
11	スナップ写真の現像・編集1	編集すべき画像の選択と編集箇所の選定
	スナップ写真の現像・編集2	画像の編集を実践
12	スナップ写真の現像・編集3	画像の編集を実践し、アルバムに使用する画像を選定する
	スナップ写真の現像・編集4	画像の編集を実践
13	アルバムページの構成1	編集した画像で、アルバムページを構成する
	アルバムページの構成2	
14	プレゼン実践1	実際に撮影・編集したデータを現像し、プレゼン資料の作成・準備をする。
	プレゼン実践2	個人・グループでのプレゼンを通して、作品紹介をする
15	総まとめ	授業の振り返り
	テスト	テスト実施

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	写真・動画編集B		
必修選択	選択	(学則表記)	写真・動画編集B		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ウェディングにおける各シーンの撮影手順、編集技術を理解し、商品(作品)としての編集、完成を目指す。				
到達目標	ウェディング動画(記録)の編集ができる。 ウェディングの記録動画を作ることができる。				
評価基準	試験・実践・作品：60% 授業への取り組み姿勢：40%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上である者。成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ブライダル撮影演習 / 広報スキル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	授業の流れ、到達目標、前期授業の振り返りとウェディングの動画商品について
	動画撮影についての知識	一眼レフでの動画撮影方法、ポイント、注意点について
2	動画編集基礎1	撮影～納品までの流れを知る。 Premiereの使い方について理解する。
3	動画撮影基礎	一眼振レフカメラを使用して撮影する。
	動画編集基礎2	上記で撮影した素材を使用して編集を行う。
4	挙式記録動画編集1	Premiereでの挙式記録動画の編集方法を知る。
	挙式記録動画編集2	指導者による動画編集を見て、実際の編集方法を学ぶ。
5	挙式記録動画編集3	挙式シーンの記録動画を編集する。

	挙式記録動画編集4	挙式シーンの記録動画を編集する。
6	挙式記録動画編集5	挙式シーンの記録動画を編集する。
	挙式記録動画編集6	
7	ダイジェスト動画の知識<Story>	ダイジェスト動画の撮影方法、ポイント、注意点について
	ダイジェスト動画<Story>の企画	ダイジェスト動画の企画、香盤表を作成する
8	ダイジェスト動画の撮影1	ダイジェスト動画の撮影を実践する
	ダイジェスト動画の撮影2	
9	ダイジェスト動画の撮影3	ダイジェスト動画の撮影を実践する
	ダイジェスト動画の撮影4	
10	ダイジェスト動画編集1	ダイジェスト動画編集を実践する
	ダイジェスト動画編集2	
11	ダイジェスト動画編集3	ダイジェスト動画編集を実践する
	ダイジェスト動画編集4	
12	ダイジェスト動画の投影確認1	ダイジェスト動画をスクリーンにて投影確認
	ダイジェスト動画の投影確認2	
13	ダイジェスト動画のプレス1	DVDのプレス作業を実践する
	ダイジェスト動画のプレス2	
14	DVDジャケットのデザイン作成	DVDジャケットを作成・プリントする
	DVDジャケットのデザイン作成	
15	ダイジェスト動画のコンテスト	ダイジェスト動画の学内コンテストを行い、表彰をします
	総まとめ	授業の振り返り・小テスト

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	広報スキル		
必修選択	選択	(学則表記)	広報スキル		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	* 広報のアプローチ方法を知り、広報計画を実施するためのテクニックを身につける * プライダル業界内外関わらず、広報の基礎知識の応用ができる				
到達目標	* 広報の基礎知識を身につけ、広報計画を立て実行することができる。 * 会社における広報の効果を理解し、広報計画を立て自分で遂行することができるようになる。 * 人に響くライティングの書き方や商品アピールができるようになる。				
評価基準	試験：40% 課題提出：40% 授業態度：20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	撮影基礎演習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	遠藤 佑美	実務経験	○		
実務内容	ドレスショップにてドレススタイリストとして勤務し、新郎新婦衣装合わせのほか、広告撮影や買い付けを経験。またフォトスタジオ立ち上げに関わりマーケティングやSNSを担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	広報とは、広報の役割と求められる能力、心構え、広報の変遷を学ぶ
2	広報の基本1	対象別・広報の目的・ゴール、社内広報と社外広報、ブランディングの基本を学ぶ
3	広報の基本2	広報戦略の基本、ペルソナ分析、PRストーリーの重要性を学ぶ
4	マーケティング	マーケティングの基礎・フローを理解する(3C、4P)
5	デザインの基本	レイアウトの基本、注意点、テーマに沿ったレイアウト実践をする

6	デザインの実践	配色の基本と役割・ポイント、テーマに沿った配色デザイン実践をする
7	ライティングの基本	構成力・文法力・文章力、校閲・校正、キーワード(SEO対策含)について学ぶ
8	ライティングの実践	ライティングテーマを設けての実践・発表、評価を行う
9	危機管理能力	メディア活動と法規(知的財産権、個人情報保護法、不正アクセス禁止法など)、ポートフォリオについて知る
10	SNSの種類と特徴	SNSの種類と特徴、ユーザー層分析、それぞれの特徴に合った使い方を知る
11	SNSを使用した広報活動	Instagram、Twitter、Line@、Facebook、Tiktok、Youtube等を使用し、実際の好事例を分析する
12	前期末テスト	1筆記試験 2広報戦略に沿ったSNS画像の作成またはライティングを行う
13	広報スキル実践・SNS運用1	実際に役割に分かれSNS運用をする
14	広報スキル実践・SNS運用2	実際に役割に分かれSNS運用をする
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	演習	科目名	広報スキルB		
必修選択	選択	(学則表記)	広報スキルB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	1	30
使用教材	JWSA WEDDING PHOTO		出版社	一般社団法人日本ウェディング スタイリスト協会	

科目の基礎情報2

授業のねらい	*カメラマンとしての広報へのアプローチ・計画実行やアプローチのテクニックを身につける *ブライダル業界内外関わらず、広報の基礎知識の応用ができる				
到達目標	*カメラマンとして広報の基礎知識を身につけ、広報計画を立て実行することができる。 *会社における広報の効果を理解し、広報計画を立て自分で遂行することができるようになる。 *人に響くライティングの書き方や商品アピールができるようになる。				
評価基準	試験：40% 課題提出：40% 授業態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	映像WEB、撮影基礎演習、マーケティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	SNS広告	SNS広告の特徴、出稿、リスティング広告とSNS広告の例
2	広報スキル実践・コンセプト立案	前期で習ったことを軸に、フォト婚カップルを実際に募集する広報活動とSNS運用を数日実際に実践する/目的・概要説明・コンセプト設定・チーム分け・情報収集
3	広報スキル実践・導入1	前期で習ったことを軸に、フォト婚カップルを実際に募集する広報活動とSNS運用を数日実際に実践する/目的・概要説明・コンセプト設定・チーム分け・情報収集
4	広報スキル実践・導入2	前期で習ったことを軸に、フォト婚カップルを実際に募集する広報活動とSNS運用を数日実際に実践する/目的・概要説明・コンセプト設定・チーム分け・情報収集
5	広報スキル実践・SNS運用1	実際に役割に分かれSNS運用をする
6	広報スキル実践・SNS運用2	実際に役割に分かれSNS運用をする
7	広報スキル実践・SNS運用3	実際に役割に分かれSNS運用をする

8	広報スキル実践・SNS運用4	実際に役割に分かれSNS運用をする
9	広報スキル実践・SNS運用5	実際に役割に分かれSNS運用をする
10	広報スキル実践・フォトフェア1	フォトフェア行事企画立案・役割担当決め
11	広報スキル実践・フォトフェア2	フォトフェア行事・担当セッションを進める
12	広報スキル実践・フォトフェア3	フォトフェア行事・担当セッションを進める
13	広報スキル実践・フォトフェア4	フォトフェア行事実践
14	広報スキル実践・フォトフェア振り返り テスト	フォトフェア行事・振り返り 後期のテストの実施
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75%(評価表にて採点)、学校評価25%(レポート)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	秋元 珠梨 他1名		実務経験		
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報1

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	ウェディングプランナー科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報2

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75%(評価表にて採点)、学校評価25%(レポート)				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	秋元 珠梨 他1名		実務経験		
実務内容					